

平成31年度
熊本高等専門学校専攻科
学 生 募 集 要 項



電子情報システム工学専攻〔熊本キャンパス〕

選抜区分	出 願 期 間	選抜期日	合格発表
推 薦 選 抜	4月25日(水) ~ 5月8日(火)	5月11日(金)	5月16日(水)
学 力 選 抜	5月17日(木) ~ 5月23日(水)	5月26日(土)	5月30日(水)
社会人特別選抜			

生産システム工学専攻〔八代キャンパス〕

選抜区分	出 願 期 間	選抜期日	合格発表
推 薦 選 抜	4月25日(水) ~ 5月8日(火)	5月12日(土)	5月18日(金)
学 力 選 抜	6月11日(月) ~ 6月15日(金)	6月23日(土)	6月29日(金)
社会人特別選抜			

独立行政法人国立高等専門学校機構
熊 本 高 等 専 門 学 校
ホームページ <http://www.kumamoto-nct.ac.jp/>

【熊本キャンパス】

〒861-1102 熊本県合志市須屋 2659-2 (学生課教務係)
TEL (096) 242-3874
FAX (096) 242-5504

【八代キャンパス】

〒866-8501 熊本県八代市平山新町 2627 (学務課)
TEL (0965) 53-1331
FAX (0965) 53-1239

目次

募集要項

1. 熊本高等専門学校理念	1
2. 専攻科の目的	1
3. 専攻科の教育目標	1
4. 専攻科のアドミッションポリシー	1
5. 専攻	2
6. 募集人員	2
7. 日程	3
8. 入学手続	3
9. その他の注意事項	3
10. 個人情報利用目的	3
11. 入学志願についての問い合わせ	3

電子情報システム工学専攻

推薦選抜

1. 出願資格	4
2. 願書の受付	4
3. 出願手続	4
4. 選抜の方法	5
5. 合格者の発表	5
6. 入学確約書の提出	5
7. 「推薦選抜」不合格者の 「学力選抜」の受験について	5

学力選抜

1. 出願資格	6
2. 願書の受付	6
3. 出願手続	6
4. 選抜の方法	7
5. 合格者の発表	8
6. 入学確約書の提出	8

社会人特別選抜

1. 出願資格	9
2. 願書の受付	9
3. 出願手続	9
4. 選抜の方法	10
5. 合格者の発表	11
6. 入学確約書の提出	11

生産システム工学専攻

推薦選抜

1. 出願資格	12
2. 願書の受付	12
3. 出願手続	12
4. 選抜の方法	13
5. 合格者の発表	13
6. 入学確約書の提出	13
7. 「推薦選抜」不合格者の 「学力選抜」の受験について	13

学力選抜

1. 出願資格	14
2. 願書の受付	14
3. 出願手続	14
4. 選抜の方法	16
5. 合格者の発表	17
6. 入学確約書の提出	17

社会人特別選抜

1. 出願資格	18
2. 願書の受付	18
3. 出願手続	18
4. 選抜の方法	20
5. 合格者の発表	20
6. 入学確約書の提出	20

専攻科案内

1. 学士の学位取得方法	21
2. 入学時に必要な諸経費	21
3. 入学金・授業料免除及び 奨学金貸与制度	21
4. 学生寮	22
5. 電子情報システム工学専攻の概要	22
6. 生産システム工学専攻の概要	24
7. JABEE対応教育プログラム (電子・情報技術応用工学コース) 及び JABEE非対応教育プログラム (電子情報技術専修コース)	26
8. JABEE対応教育プログラム (生産システム工学専攻)	32

熊本・八代キャンパス案内図	35
---------------	----

1. 熊本高等専門学校理念

熊本高等専門学校は、専門分野の知識と技術を有し、技術者としての人間力を備えた国際的にも通用する創造的な技術者の育成及び科学技術による地域社会への貢献を使命としています。

2. 専攻科の目的

専攻科は、急速に進む科学技術の高度化と国際化に対応するために、高等専門学校の教育で修得した実践的技術をさらに深めた教育を実施するものであって、特定の専門工学領域における、より高度の知識・素養とともに複合領域に対応できる幅広い視野を身に付けた実践的・創造的技術者の育成を目的としています。

3. 専攻科の教育目標

専攻科は、本校の理念に基づき、技術者としての広い視野と科学技術の基礎的な知識及び専門分野の知識と技術を有し、技術者として必要なコミュニケーション能力と倫理観を備え、様々な問題の解決に主体的に取り組むことのできる実践的技術者の育成を教育目標としています。

4. 専攻科のアドミッションポリシー

専攻科は、次のような人を広く求めています。

- (1) 技術の向上や新しいものの創造に対する意欲を持っている人
- (2) 科学技術の基礎知識および専門分野の基礎的な知識と技術を持っている人
- (3) 日本語および英語の基本的コミュニケーション能力が備わっている人
- (4) 社会への貢献意識を持っている人

専攻科入学者の選抜は、「推薦による選抜」、「学力検査による選抜」および「社会人特別選抜」の三つの方法で行います。

(1) 推薦による選抜

在籍する学校長が人物・学業ともに優れていると認めて推薦する人で、本専攻科への適性を有し、合格した場合は必ず入学する人を選抜します。

(2) 学力検査による選抜

本専攻科での勉学に必要な素養と基礎学力および専門基礎知識を備えた人を選抜します。

(3) 社会人特別選抜

企業等での1年以上の実務経験があつて、専門分野における基礎的な学力と知識を持ち、本専攻科での学習の意欲があり人物的にも優れていると所属の長が推薦する人で、本専攻科への適性を有し、合格した場合は必ず入学する人を選抜します。

選抜方法	試験内容および判定方法
推薦選抜	推薦選抜は、在籍する学校長から提出された推薦書および調査書と面接の総合判定により行います。
学力選抜	学力選抜は、学力検査の成績および出身学校長より提出された調査書の総合判定により行います。学力検査は筆記試験で、英語、数学および専門科目です。
社会人特別選抜	社会人特別選抜は、所属の長から提出された推薦書、調査書および志望理由書と面接の総合判定により行います。

募集要項

5. 専攻

専攻科は、電子情報システム工学専攻と生産システム工学専攻の2専攻を有し、選抜は専攻毎に行います。

5. 1 電子情報システム工学専攻

電子情報システム工学専攻に、「電子・情報技術応用工学コース（JABEE対応教育プログラム）」と「電子情報技術専修コース（JABEE非対応教育プログラム）」の二つの履修コースを置いています。コースの選択は、入学後に行います。

【専攻科修了要件の確認について】

「電子情報システム工学専攻」においては、JABEE対応教育プログラム「電子・情報技術応用工学コース」とJABEE非対応教育プログラム「電子情報技術専修コース」があります。「電子情報技術専修コース」の修了には専攻科入学以前の学習履歴は関係ありませんが、「電子・情報技術応用工学コース」を修了するためには、本専攻が定める「電子・情報技術応用工学コース」の修了要件を満たさなければなりません。

募集要項の出願資格に定める専攻科に入学できる人であっても、「電子・情報技術応用工学コース」の修了要件を満たさない場合があります。このため、本校熊本キャンパスの本科（情報通信エレクトロニクス工学科、制御情報システム工学科、人間情報システム工学科）以外から「電子情報システム工学専攻」を受験される場合は、出身校での修得単位について、本校の規定に従って認定を行い、JABEE対応教育プログラムの修了要件を満たすことが可能かどうかを確認いたします。従って、本校熊本キャンパスの本科以外から「電子情報システム工学専攻」を受験（推薦選抜、学力選抜、社会人特別選抜を問わず）し、「電子・情報技術応用工学コース」を履修される方は、それぞれの入学願書受付開始期日の2週間前までに熊本キャンパスの学生課教務係にお問い合わせください。

5. 2 生産システム工学専攻

【専攻科修了要件の確認について】

生産システム工学専攻を修了するためには、本専攻が定める「生産システム工学」教育プログラムの修了要件を満たさなければなりません。募集要項の専攻科出願資格に定める専攻科に入学できる人であっても、本教育プログラムの修了要件を満たさない場合があります。このため、本校八代キャンパスの本科以外から生産システム工学専攻を受験される場合は、出身校での修得単位について、八代キャンパスの規定に従って読み替えを行い、プログラムの修了要件を満たすことが可能かを確認します。従って、本校八代キャンパスの本科（機械知能システム工学科、建築社会デザイン工学科、生物化学システム工学科）以外から「生産システム工学専攻」を受験（推薦選抜、学力選抜、社会人特別選抜を問わず）される人は、それぞれの選抜区分の入学願書受付開始期日の2週間前までに八代キャンパス学務課にお問い合わせください。

6. 募集人員

専攻名	募集人員
電子情報システム工学専攻（熊本キャンパス）	24名
生産システム工学専攻（八代キャンパス）	24名
計	48名

7. 日程

〔電子情報システム工学専攻〕

選抜区分	出 願 期 間	選抜期日	合格発表
推 薦 選 抜	4月25日（水）～ 5月8日（火）	5月11日（金）	5月16日（水）
学 力 選 抜	5月17日（木）～ 5月23日（水）	5月26日（土）	5月30日（水）
社会人特別選抜			

〔生産システム工学専攻〕

選抜区分	出 願 期 間	選抜期日	合格発表
推 薦 選 抜	4月25日（水）～ 5月8日（火）	5月12日（土）	5月18日（金）
学 力 選 抜	6月11日（月）～ 6月15日（金）	6月23日（土）	6月29日（金）
社会人特別選抜			

8. 入学手続

合格者には、2月上旬に入学案内を送付します。この手続を完了しない人には、入学を許可しません。

9. その他の注意事項

- (1) 出願受付は、各専攻が所在するキャンパス毎に行います。出願書類提出後、住所又は郵便受取先を変更したときは、直ちに、出願先へご連絡ください。
- (2) 選抜当日「受験票」を必ず携行してください。
- (3) 受験のための宿舍の斡旋はいたしません。
- (4) 受験票の返送が遅いと思われる場合は、出願先に問い合わせてください。

10. 個人情報の利用目的

入学志願者から提出された出願書類に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価などの入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のために利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査及び奨学金申請の審査
- (3) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

11. 入学志願についての問い合わせ

入学志願に関する問い合わせについては、下記まで書面又は電話にて照会してください。

《電子情報システム工学専攻》

（熊本キャンパス） 〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2 （学生課教務係）

TEL (096) 242-3874

FAX (096) 242-5504

《生産システム工学専攻》

（八代キャンパス） 〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627 （学務課）

TEL (0965) 53-1331

FAX (0965) 53-1239

推 薦 選 抜

1. 出願資格

- (1) 平成31年3月に高等専門学校卒業見込みの人
- (2) 第4学年の学年末の成績が在籍したクラスの上位2分の1以内であり、出身学校長が成績・人物共に優れていると認め推薦する人
- (3) JABEE対応教育プログラム「電子・情報技術応用工学コース」を履修する人
※専攻科案内7. を参照してください。

2. 願書の受付

- (1) 受付期間 平成30年4月25日（水）から平成30年5月8日（火）まで（必着）
※郵送の場合は、郵送期間を考慮してください。
- (2) 受付時間 午前8時30分から午後5時00分まで
※持参の場合は、土日祝日を除きます。
- (3) 受付場所 (熊本キャンパス) 〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2 (学生課教務係)
TEL (096) 242-3874 FAX (096) 242-5504

3. 出願手続

- (1) 出願書類等

出願書類等	摘 要
① 入 学 願 書	本専攻科所定の様式に必要事項を記入したものを提出してください。
② 推 薦 書	本専攻科所定の様式に出身学校長が作成したものを提出してください。
③ 志 願 理 由 書	本専攻科所定の様式に本人が志願する理由を分かりやすく記入してください。
④ 写 真 票 受 験 票	本専攻科所定の様式に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったものを提出してください。写真は、正面上半身脱帽（縦4.5cm×横3.5cm）で出願3か月以内に撮影したものを貼付してください。
⑤ 調 査 書	本専攻科所定の様式に出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。
⑥ 検 定 料	16,500円 本専攻科所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、銀行の窓口で振り込んでください。 なお、「振込金受取書（学校提出用）」を「専攻科入学願書」の裏面に貼付してください。
⑦ あ て 名 票	本専攻科所定の様式に、合格通知書等を受け取る郵便番号、住所及び氏名を記入してください。 (2枚とも記入してください。)
⑧ 返 信 用 封 筒 (受 験 票 送 付 用)	受験票の郵送を希望する人は、市販の長形3号封筒に郵便番号と住所及び氏名を記入し、362円（含・速達料）の切手を貼付して提出してください。
⑨ そ の 他	外国籍を有する人は、居住する市区町村長の発行する「住民票」または「在留カード」の両面コピーを提出してください。

※各様式等は本校ホームページからダウンロードできます。

(<http://www.kumamoto-nct.ac.jp/entrance/exam/senkouka-exam.html>)

注) 検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- ① ゆうちょ銀行からの振込みは口座からのみ可能で、現金による振込みは出来ません。ご利用の際は、「通帳とお届け印」又は「キャッシュカード」が必要です。
- ② ゆうちょ銀行からの振込みは本専攻科所定の振込依頼書を使用することは出来ません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、記入していただく必要があります。
- ③ 振込後は、「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を受領して、専攻科入学願書の裏面に貼付してください。

(2) 出願に関する注意事項

- ① 郵送での出願は、「書留速達」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。
- ② 出願書類に不備があるものは、受理しません。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ④ 願書受付後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び検定料は返還しません。ただし、次に該当した場合は、振込済みの検定料を返還します。
 - ・検定料を振り込んだが、期限までに願書類を提出しなかった又は願書類が受理されなかった場合
 - ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合

4. 選抜の方法

推薦選抜は、推薦書、調査書及び面接の総合判定とします。

- (1) 面接の日時 平成30年5月11日（金） 午後3時00分から
(午後2時40分までに、受験票を持参し、1号棟ICTホール前に集合してください。)
- (2) 面接の場所 熊本高等専門学校 熊本キャンパス

5. 合格者の発表

平成30年5月16日（水）

- ・面接を受けたキャンパスに午前10時00分、合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。
- ・本校のホームページに合格者の受験番号を掲載します。
- ・推薦者宛に可否を文書で通知します。
- ・電話、ファクス等による可否の問い合わせには一切応じません。

6. 入学確約書の提出

- ・提出期限：平成30年5月25日（金） 午後5時00分
合格通知を受けた人は、「入学確約書」を上記期限までに提出してください。なお、期限までに提出しない人は、入学を許可しません。
- ・提出先：熊本キャンパス学生課教務係

7. 「推薦選抜」不合格者の「学力選抜」の受験について

「推薦選抜」の結果、不合格となった人で「学力選抜」を希望する人は、改めて検定料を含め出願手続きを行ってください。ただし、成績証明書及び住民票または在留カードの両面コピー（外国籍の場合）の再提出は必要ありません。

学 力 選 抜

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した人（平成31年3月卒業見込みの人を含む。）
- (2) 短期大学を卒業した人（平成31年3月卒業見込みの人を含む。）
- (3) 専修学校の専門課程を修了した人のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入することができる人（平成31年3月修了見込みの人を含む。）
- (4) 外国の学校教育における14年の課程を修了した人（平成31年3月修了見込みの人を含む。）
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における14年の課程を修了した人（平成31年3月修了見込みの人を含む。）
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した人
- (7) その他、本校の専攻科において、高等専門学校を卒業した人と同等以上の学力があると認めた人

2. 願書の受付

- (1) 受付期間 平成30年5月17日（木）から平成30年5月23日（水）まで（必着）
※郵送の場合は郵送期間を考慮してください。
- (2) 受付時間 午前8時30分から午後5時00分まで
※持参の場合は、土日祝日を除きます。
- (3) 受付場所 （熊本キャンパス）〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2（学生課教務係）
TEL (096) 242-3874 FAX (096) 242-5504

3. 出願手続

- (1) 出願書類等

出願書類等	摘 要
① 入 学 願 書	本専攻科所定の様式に必要事項を記入したものを提出してください。
② 写 真 票 受 験 票	本専攻科所定の様式に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったものを提出してください。写真は、正面上半身脱帽（縦4.5cm×横3.5cm）で出願3か月以内に撮影したものを貼付してください。
③ 調 査 書	<ol style="list-style-type: none"> ① 本専攻科所定の様式に出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 ② 出願資格（3）により出願する人は、次の証明書を添付してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・専修学校が発行する修業年限2年以上で、修了に必要な総授業時間数が1700時間以上の専門課程を修了又は修了見込みであることの証明書。 ・専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類。 ③ 出願資格（4）から（7）による場合は、資格にかかる最終学校の卒業（修了）証明書及び成績証明書を添付してください。
④ 検 定 料	16,500円 本専攻科所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、銀行の窓口で振り込んでください。なお、「振込金受取書（学校提出用）」を「専攻科入学願書」の裏面に貼付してください。

⑤ TOEICスコア取得 または実用英語技能検定（準2級以上）合格申請書	学力選抜試験（英語）については、筆記試験を実施しないでTOEIC又は実用英語技能検定準2級以上の成績による評価を実施しますので、本専攻科所定の様式に記入してください。その際は、「公式認定書」又は「個人成績表」の写しを添付してください。
⑥ あて名票	本専攻科所定の様式に合格通知書等を受け取る郵便番号、住所及び氏名を記入してください。（2枚とも記入してください。）
⑦ 返信用封筒 （受験票送付用）	受験票の郵送を希望する人は、市販の長形3号封筒に郵便番号と住所及び氏名を記入し、362円（含・速達料）の切手を貼付して提出してください。
⑧ その他	外国籍を有する人は、居住する市区町村長の発行する「住民票」または「在留カード」の両面コピーを提出してください。

※各様式等は本校ホームページからダウンロードできます。

（<http://www.kumamoto-nct.ac.jp/entrance/exam/senkouka-exam.html>）

注）検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことが出来ますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- ① ゆうちょ銀行からの振込みは口座からのみ可能で、現金による振込みは出来ません。ご利用の際は、「通帳とお届け印」又は「キャッシュカード」が必要です。
- ② ゆうちょ銀行からの振込みは本専攻科所定の振込依頼書を使用することは出来ません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、記入していただく必要があります。
- ③ 振込後は、「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を受領して、専攻科入学願書の裏面に貼付してください。

（2）出願に関する注意事項

- ① 郵送での出願は、「書留速達」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。
- ② 出願書類に不備があるものは、受理しません。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ④ 願書受付後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び検定料は返還しません。ただし、次に該当した場合は、振込済みの検定料を返還します。
 - ・検定料を振り込んだが、期限までに願書類を提出しなかった又は出願書類が受理されなかった場合
 - ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合

4. 選抜の方法

学力選抜は、学力検査及び調査書の総合判定とします。

（1）学力検査科目（340点）

① 一般科目

英 語（80点） TOEIC又は実用英語技能検定準2級以上の成績による評価を実施します。

（下記※参照）

数 学（80点） 線形代数、微分積分（微分方程式を含む。）

電子情報システム工学専攻

② 専門科目（180点）

次の4科目の中から3科目選択すること。（各科目60点）

電気磁気学、電気回路、計算機工学、情報処理

※ 学力検査においては、TOEICの得点又は実用英語技能検定の資格取得により、以下の方法で算出した換算点を英語の科目点とします。

1) 学力選抜日から起算して、2年以内に取得したTOEICスコアによる場合

・ TOEICの得点449点以上は英語の科目点を80点とする。

・ TOEICの得点201点～448点に関して、次式により換算する。

$$(\text{英語の科目点}) = 48\text{点} + 0.32 \times ((\text{TOEICの得点}) - 350\text{点})$$

ただし、小数点以下は四捨五入（200点以下は0点）

※平成29年8月5日以降実施のTOEIC試験については、TOEIC Listening & Reading Test（略称 TOEIC L&R）を評価対象とします（TOEIC IPを含む）。

2) 学力選抜日から起算して、2年以内に取得した実用英語技能検定準2級以上による場合

・ 実用英語技能検定準2級＝56点、実用英語技能検定2級以上＝80点

※TOEICと実用英語技能検定を両方受検している場合は、英語への換算点の高い方を採用しますので、いずれか換算点の高い方で申請してください。

(2) 学力検査の日時及び場所

日 時 平成30年5月26日（土）

（午前8時40分までに、受験票を持参し、1号棟ICTホール前に集合してください。）

場 所 熊本高等専門学校 熊本キャンパス

科 目 数 学 9:00 ～ 10:00

専門科目 10:15 ～ 11:45

5. 合格者の発表

平成30年5月30日（水）

- ・ 学力検査を受けたキャンパスに午前10時00分、合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。
- ・ 本校のホームページに合格者の受験番号を掲載します。
- ・ 電話、ファクス等による合否の問い合わせには一切応じません。

6. 入学確約書の提出

・ 提出期限：平成30年10月31日（水）

合格通知を受けた人は、「入学確約書」を上記期限までに提出してください。なお、期限までに提出しない人は、入学を許可しません。

・ 提出先：熊本キャンパス学生課教務係

社会人特別選抜

1. 出願資格

企業等に出願時において1年以上在籍する人で、次の（1）から（7）のいずれかに該当する人

- （1）高等専門学校を卒業した人
- （2）短期大学を卒業した人
- （3）専修学校の専門課程を修了した人のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入することができる人
- （4）外国の学校教育における14年の課程を修了した人
- （5）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における14年の課程を修了した人
- （6）我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した人
- （7）その他、本校の専攻科において、高等専門学校を卒業した人と同等以上の学力があると認めた人

2. 願書の受付

- （1）受付期間 平成30年5月17日（木）から平成30年5月23日（水）まで（必着）
※郵送の場合は、郵送期間を考慮してください。
- （2）受付時間 午前8時30分から午後5時00分まで
※持参の場合は、土日祝日を除きます。
- （3）受付場所 （熊本キャンパス）〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2（学生課教務係）
TEL (096) 242-3874
FAX (096) 242-5504

3. 出願手続

- （1）出願書類等

出願書類等	摘 要
① 入学願書	本専攻科所定の様式に必要な事項を記入したものを提出してください。
② 写真票 受 験 票	本専攻科所定の様式に必要な事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったものを提出してください。写真は、正面上半身脱帽（縦4.5cm×横3.5cm）で出願3か月以内に撮影したものを貼付してください。
③ 調査書	① 本専攻科所定の様式に出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 ② 出願資格（3）により出願する人は、次の証明書を添付してください。 ・専修学校が発行する修業年限2年以上で、修了に必要な総授業時間数が1700時間以上の専門課程を修了、又は修了見込みであることの証明書。 ・専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類。 ③ 出願資格（4）から（7）による場合は、資格にかかる最終学校の卒業（修了）証明書及び成績証明書を添付してください。
④ 推薦書	本専攻科所定の様式に所属の長が作成したものを提出してください。

電子情報システム工学専攻

⑤ 志 願 理 由 書	本専攻科所定の様式に本人が志願する理由を分かりやすく記入してください。
⑥ 受 験 承 諾 書	(企業などに在職のまま入学を希望する人のみ) 本専攻科所定の様式に所属の長が作成したものを提出してください。
⑦ 検 定 料	16,500円 本専攻科所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、銀行の窓口で振り込んでください。 なお、「振込金受取書(学校提出用)」を「専攻科入学願書」の裏面に貼付してください
⑧ あ て 名 票	本専攻科所定の様式に合格通知書等を受け取る郵便番号、住所及び氏名を記入してください。(2枚とも記入してください。)
⑨ 返 信 用 封 筒 (受験票送付用)	受験票の郵送を希望する人は、市販の長形3号封筒に郵便番号と住所及び氏名を記入し、362円(含・速達料)の切手を貼付して提出してください。
⑩ そ の 他	外国籍を有する人は、居住する市区町村長の発行する「住民票」または「在留カード」の両面コピーを提出してください。

※各様式等は本校ホームページからダウンロードできます。

(<http://www.kumamoto-nct.ac.jp/entrance/exam/senkouka-exam.html>)

注) 検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合の注意点

検定料は郵便局(ゆうちょ銀行)からも振り込むことが出来ませんが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- ① ゆうちょ銀行からの振込みは口座からのみ可能で、現金による振込みは出来ません。ご利用の際は、「通帳とお届け印」又は「キャッシュカード」が必要です。
- ② ゆうちょ銀行からの振込みは本専攻科所定の振込依頼書を使用することは出来ません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、記入していただく必要があります。
- ③ 振込後は、「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を受領して、専攻科入学願書の裏面に貼付してください。

(2) 出願に関する注意事項

- ① 郵送での出願は、「書留速達」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。
- ② 出願書類に不備があるものは、受理しません。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ④ 願書受付後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び検定料は返還しません。ただし、次に該当した場合は、振込済みの検定料を返還します。
 - ・検定料を振り込んだが、期限までに書類を提出しなかった又は書類が受理されなかった場合
 - ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合

4. 選抜の方法

社会人特別選抜は、推薦書、調査書、志願理由書及び面接の総合判定とします。

面接の日時 平成30年5月26日(土) 午後2時00分から

面接の場所 熊本高等専門学校 熊本キャンパス

(※午後1時40分までに受験票を持参し、1号棟ICTホール前に集合してください。)

5. 合格者の発表

平成30年5月30日（水）

- ・面接を受けたキャンパスに午前10時00分、合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。
- ・本校のホームページに合格者の受験番号を掲載します。
- ・電話、ファクス等による合否の問い合わせには一切応じません。

6. 入学確約書の提出

- ・提出期限：平成30年10月31日（水）

合格通知を受けた人は、「入学確約書」を上記期限までに提出してください。なお、期限までに提出しない人は、入学を許可しません。

- ・提出先：熊本キャンパス学生課教務係

推 薦 選 抜

1. 出願資格

- (1) 平成31年3月に高等専門学校卒業見込みの人
- (2) 第4学年の学年末の成績が在籍したクラスのおおむね2分の1以内であり、出身学校長が成績・人物共に優れていると認め推薦する人

2. 願書の受付

- (1) 受付期間 平成30年4月25日（水）から平成30年5月8日（火）まで（必着）
※郵送の場合は、郵送期間を考慮してください。
- (2) 受付時間 午前8時30分から午後5時00分まで
※持参の場合は、土日祝日を除きます。
- (3) 受付場所（八代キャンパス）〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627（学務課）
TEL (0965) 53-1331 FAX (0965) 53-1239

3. 出願手続

- (1) 出願書類等

出願書類等	摘 要
① 入 学 願 書	本専攻科所定の様式を使用し、必要事項を記入したものを提出してください。
② 推 薦 書	本専攻科所定の様式に出身学校長が作成したものを提出してください。
③ 志 願 理 由 書	本専攻科所定の様式に本人が志願する理由を分かりやすく記入してください。
④ 写 真 票 受 験 票	本専攻科所定の様式に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったものを提出してください。写真は、正面上半身脱帽（縦4.5cm×横3.5cm）で出願3か月以内に撮影したものを貼付してください。
⑤ 調 査 書	本校専攻科所定の用紙に出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。当該学校長が作成した成績証明書を添付してください。
⑥ 検 定 料	16,500円 本専攻科所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、銀行の窓口で振り込んでください。なお、「振込金受取書（学校提出用）」を「専攻科入学願書」の裏面に貼付してください。
⑦ あ て 名 票	合格通知書等を受け取る郵便番号、住所及び氏名を記入してください。（2枚とも記入してください。）
⑧ 返 信 用 封 筒 （受験票送付用）	受験票の郵送を希望する志願者は、市販の長形3号封筒に郵便番号と住所及び氏名を記入し、362円（含・速達料）の切手を貼付して提出してください。
⑨ そ の 他	外国籍を有する人は、居住する市区町村長の発行する「住民票」または「在留カード」の両面コピーを提出してください。

※各様式等は本校ホームページからダウンロードできます。

(<http://www.kumamoto-nct.ac.jp/entrance/exam/senkouka-exam.html>)

注) 検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことが出来ますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- ① ゆうちょ銀行からの振込みは口座からのみ可能で、現金による振込みは出来ません。ご利用の際は、「通帳とお届け印」又は「キャッシュカード」が必要です。
- ② ゆうちょ銀行からの振込みは本専攻科所定の振込依頼書を使用することは出来ません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、記入いただく必要があります。
- ③ 振込後は、「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を受領して、専攻科入学願書の裏面に貼付してください。

(2) 出願に関する注意事項

- ① 郵送での出願は、必ず「書留速達」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。
- ② 出願書類に不備があるものは、受理しません。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ④ 願書受付後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び検定料は返還しません。ただし、次に該当した場合は、振込済みの検定料を返還します。
 - ・検定料を振り込んだが、期限までに書類を提出しなかった又は書類が受理されなかった場合。
 - ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合。

4. 選抜の方法

推薦選抜は、推薦書及び調査書及び面接の総合判定とします。

- (1) 面接の日時 平成30年5月12日(土) 午前10時00分から
(午前9時30分までに、受験票を持参し、共通教育科目・管理棟2階大会議室に集合してください。)
- (2) 面接の場所 熊本高等専門学校 八代キャンパス

5. 合格者の発表

平成30年5月18日(金)

- ・面接を受けたキャンパスに午前10時00分、合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。
- ・本校のホームページに合格者の受験番号を掲載します。
- ・推薦者宛に合否を文書で通知します。
- ・電話、ファクス等による合否の問い合わせには一切応じません。

6. 入学確約書の提出

提出期限 平成30年5月25日(金) 午後5時00分

合格通知を受けた人は、「入学確約書」を上記期限までに提出してください。なお、期限までに提出しない人は、入学を許可しません。

提出先 八代キャンパス学務課

7. 「推薦選抜」不合格者の「学力選抜」の受験について

「推薦選抜」の結果、不合格となった人で「学力選抜」を希望する人は、改めて検定料を含め出願手続きを行ってください。ただし、成績証明書及び住民票または在留カードの両面コピー(外国籍の場合)の再提出は必要ありません。

学 力 選 抜

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した人（平成31年3月卒業見込みの人を含む。）
- (2) 短期大学を卒業した人（平成31年3月卒業見込みの人を含む。）
- (3) 専修学校の専門課程を修了した人のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入することができる人（平成31年3月修了見込みの人を含む。）
- (4) 外国の学校教育における14年の課程を修了した人（平成31年3月修了見込みの人を含む。）
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における14年の課程を修了した人（平成31年3月修了見込みの人を含む。）
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した人
- (7) その他、本校の専攻科において、高等専門学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人

2. 願書の受付

- (1) 受付期間 平成30年6月11日（月）から平成30年6月15日（金）まで（必着）
※郵送の場合は、郵送期間を考慮してください。
- (2) 受付時間 午前8時30分から午後5時00分まで
※持参の場合は、土日祝日を除きます。
- (3) 受付場所 （八代キャンパス）〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627（学務課）
TEL (0965) 53-1331 FAX (0965) 53-1239

3. 出願手続

- (1) 出願書類等

出願書類等	摘 要
① 入 学 願 書	本専攻科所定の様式に、必要事項を記入したものを提出してください。
② 写 真 票 受 験 票	本専攻科所定の様式に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったものを提出してください。写真は、正面上半身脱帽（縦4.5cm×横3.5cm）で出願3か月以内に撮影したものを貼付してください。
③ 調 査 書	<ul style="list-style-type: none"> ① 本専攻科所定の様式に出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。当該学校長が作成した成績証明書を添付してください。 ② 出願資格（3）により出願する人は、次の証明書を添付してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・専修学校が発行する修業年限2年以上で、修了に必要な総授業時間数が1700時間以上の専門課程を修了、又は修了見込みであることの証明書。 ・専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類。 ③ 出願資格（4）から（7）による場合は、資格にかかる最終学校の卒業（修了）証明書及び成績証明書を添付してください。

④ 検 定 料	16,500円 本専攻科所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、銀行の窓口で振り込んでください。 なお、「振込金受取書(学校提出用)」を「専攻科入学願書」の裏面に貼付してください。
⑤ TOEICスコア取得 または実用英語技能検定(準2級以上)合格申請書	学力選抜試験(英語)については、筆記試験を実施しないでTOEIC又は実用英語技能検定準2級以上の成績による評価を実施しますので、本専攻科所定の様式に記入してください。その際は、「公式認定書」又は「個人成績表」の写しを添付してください。
⑥ あ て 名 票	本専攻科所定の様式に、合格通知書等を受け取る郵便番号、住所及び氏名を記入してください。(2枚とも記入してください。)
⑦ 返 信 用 封 筒 (受験票送付用)	受験票の郵送を希望する志願者は、市販の長形3号封筒に郵便番号と住所及び氏名を記入し、362円(含・速達料)の切手を貼付して提出してください。
⑧ そ の 他	外国籍を有する人は、居住する市区町村長の発行する「住民票」または「在留カード」の両面コピーを提出してください。

※各様式等は本校ホームページからダウンロードできます。

(<http://www.kumamoto-nct.ac.jp/entrance/exam/senkouka-exam.html>)

注) 検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合の注意点

検定料は郵便局(ゆうちょ銀行)からも振り込むことが出来ますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- ① ゆうちょ銀行からの振込みは口座からのみ可能で、現金による振込みは出来ません。ご利用の際は、「通帳とお届け印」又は「キャッシュカード」が必要です。
- ② ゆうちょ銀行からの振込みは**券**本専攻科所定の振込依頼書を使用することは出来ません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、記入いただく必要があります。
- ③ 振込後は、「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を受領して、専攻科入学願書の裏面に貼付してください。

(2) 出願に関する注意事項

- ① 郵送での出願は、「書留速達」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。
- ② 出願書類に不備があるものは、受理しません。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ④ 願書受付後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び検定料は返還しません。ただし、次に該当した場合は、振込済みの検定料を返還します。
 - ・ 検定料を振り込んだが、期限までに~~出願書類を提出しなかった~~又は出願書類が受理されなかった場合。
 - ・ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合。

生産システム工学専攻

4. 選抜の方法

学力選抜は、学力検査及び調査書の総合判定とします。

(1) 学力検査科目

試験区分	出題科目 (範囲)
共通	英語 (100点) TOEIC又は実用英語技能検定準2級以上の成績による評価を実施します。 (下記※参照) 数学 (100点) 線形代数学、微分積分
専門工学に関する選択	専門科目 (各区分それぞれ200点) 区分Ⅰ～Ⅲのうち、いずれか1つの区分を選択し、各区分の要件に沿って受験すること。 区分Ⅰ～Ⅲでそれぞれ想定されている受験者は、欄外注)に示す。 【区分Ⅰ】 材料力学、熱力学、流体力学、電気電子回路の4科目の中から3科目を選択 【区分Ⅱ】 (1) 必須 構造力学、建設材料 (2) 選択 建築計画、建築環境工学、水理学、土質工学の4科目の中から2科目を選択 【区分Ⅲ】 生物工学 (生物学、化学)

- 注) 区分Ⅰ) : 高専本科で機械知能システム系学科を卒業見込みの人
(専攻科入学後に機械工学又は電気電子工学で学位申請が可能な人)
- 注) 区分Ⅱ) : 高専本科で建築社会デザイン系学科を卒業見込みの人
(専攻科入学後に建築学又は土木工学で学位申請が可能な人)
- 注) 区分Ⅲ) : 高専本科で生物化学システム系学科を卒業見込みの人
(専攻科入学後に生物工学又は応用化学で学位申請が可能な人)

※ 学力検査においては、TOEICの得点又は実用英語技能検定の資格取得により、以下の方法で算出した換算点を英語の科目点とします。

1) 学力選抜日から起算して、2年以内に取得したTOEICスコアによる場合

- ・ TOEICの得点450点以上は英語の科目点を100点とする。
- ・ TOEICの得点201点～449点に関して、次式により換算する。
(英語の科目点) = 60点 + 0.4 × ((TOEICの得点) - 350点)
ただし、小数点以下は四捨五入 (200点以下は0点)

2) 学力選抜日から起算して、2年以内に取得した実用英語技能検定準2級以上による場合

- ・ 実用英語技能検定準2級 = 70点、実用英語技能検定2級以上 = 100点

※TOEICと実用英語技能検定を両方受検している場合は、英語への換算点の高い方を採用しますので、いずれか換算点の高い方で申請してください。

(2) 学力検査の日時及び場所

日 時 平成30年6月23日(土)
場 所 熊本高等専門学校 八代キャンパス
科 目 専門科目 10:00 ~ 12:00
数 学 13:00 ~ 14:20

(午前9時30分までに、受験票を持参し、共通教育科・管理棟2階大会議室に
集合してください。)

5. 合格者の発表

平成30年6月29日(金)

- ・学力検査を受けたキャンパスに午前10時00分、合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。
- ・本校のホームページに合格者の受験番号を掲載します。
- ・電話、ファクス等による合否の問い合わせには一切応じません。

6. 入学確約書の提出

提出期限 平成30年8月31日(金)

合格通知を受けた人は、「入学確約書」を上記期限までに提出してください。なお、期限までに提出しない人は、入学を許可しません。

提出先 八代キャンパス学務課

社会人特別選抜

1. 出願資格

企業等に出願時において1年以上在籍する人で、次の(1)から(7)のいずれかに該当する人

- (1) 高等専門学校を卒業した人
- (2) 短期大学を卒業した人
- (3) 専修学校の専門課程を修了した人のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入することができる人
- (4) 外国の学校教育における14年の課程を修了した人
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における14年の課程を修了した人
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した人
- (7) その他、本校の専攻科において、高等専門学校を卒業した人と同等以上の学力があると認めた人

2. 願書の受付

- (1) 受付期間 平成30年6月11日（月）から平成30年6月15日（金）まで（必着）
※郵送の場合は、郵送期間を考慮してください。
- (2) 受付時間 午前8時30分から午後5時00分まで
※持参の場合は、土日祝日を除きます。
- (3) 受付場所 （八代キャンパス）〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627（学務課）
TEL (0965) 53-1331
FAX (0965) 53-1239

3. 出願手続

- (1) 出願書類等

出願書類等	摘 要
① 入学願書	本専攻科所定の様式、必要事項を記入したものを提出してください。
② 写真票 受 験 票	本専攻科所定の様式に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったものを提出してください。写真は、正面上半身脱帽（縦4.5cm×横3.5cm）で出願3か月以内に撮影したものを貼付してください。
③ 調査書	① 本専攻科所定の様式に出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。当該学校長が作成した成績証明書を添付してください。 ② 出願資格(3)により出願する人は、次の証明書を添付してください。 ・専修学校が発行する修業年限2年以上で、修了に必要な総授業時間数が1700時間以上の専門課程を修了、又は修了見込みであることの証明書。

	<ul style="list-style-type: none"> ・専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類。 ③ 出願資格（４）から（７）による場合は、資格にかかる最終学校の卒業（修了）証明書及び成績証明書を添付してください。
④ 推薦書	本専攻科所定の様式に所属の長が作成したものを提出してください。
⑤ 志願理由書	本専攻科所定の様式に本人が志願する理由を分かりやすく記入してください。
⑥ 受験承諾書	（企業などに在職のまま入学を希望する人のみ） 本専攻科所定の様式に所属の長が作成したものを提出してください。
⑦ 検定料	16,500円 本専攻科所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、銀行の窓口で振り込んでください。 なお、「振込金受取書（学校提出用）」を「専攻科入学願書」の裏面に貼付してください。
⑧ あて名票	合格通知書等を受け取る郵便番号、住所及び氏名を記入してください。（２枚とも記入してください。）
⑨ 返信用封筒 （受験票送付用）	受験票の郵送を希望する志願者は、市販の長形３号封筒に郵便番号と住所及び氏名を記入し、362円（含・速達料）の切手を貼付して提出してください。
⑩ その他	外国籍を有する人は、居住する市区町村長の発行する「住民票」または「在留カード」の両面コピーを提出してください。

※各様式等は本校ホームページからダウンロードできます。

(<http://www.kumamoto-nct.ac.jp/entrance/exam/senkouka-exam.html>)

注) 検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- ① ゆうちょ銀行からの振込みは口座からのみ可能で、現金による振込みは出来ません。ご利用の際は、「通帳とお届け印」又は「キャッシュカード」が必要です。
- ② ゆうちょ銀行からの振込みは本専攻科所定の振込依頼書を使用することは出来ません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、記入いただく必要があります。
- ③ 振込後は、「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を受領して、専攻科入学願書の裏面に貼付してください。

(2) 出願に関する注意事項

- ① 郵送での出願は、「書留速達」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。
- ② 出願書類に不備があるものは、受理しません。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ④ 願書受付後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び検定料は返還しません。ただし、次に該当した場合は、振込済みの検定料を返還します。
 - ・検定料を振り込んだが、期限までに書類を提出しなかった又は書類が受理されなかった場合。
 - ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合。

生産システム工学専攻

4. 選抜の方法

社会人特別選抜は、推薦書、調査書、志願理由書及び面接の総合判定とします。

- (1) 口頭試問及び 平成30年6月23日(土) 午前10時00分から
面接の日時 (午前9時30分までに、受験票を持参し、共通教育科目・管理棟2階大会議室に集合してください。)
- (2) 口頭試問及び 熊本高等専門学校 八代キャンパス
面接の場所

5. 合格者の発表

平成30年6月29日(金)

- ・面接を受けたキャンパスに午前10時00分、合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。
- ・本校のホームページに合格者の受験番号を掲載します。
- ・電話、ファクス等による合否の問い合わせには一切応じません。

6. 入学確約書の提出

提出期限 平成30年8月31日(金)

合格通知を受けた人は、「入学確約書」を上記期限までに提出してください。なお、期限までに提出しない人は、入学を許可しません。

提出先 八代キャンパス学務課

専攻科案内

自宅通学の場合は3万円又は4万5千円、自宅外通学の場合は3万円又は5万1千円から選択することができます。

○ 第二種奨学金（有利子）

貸与月額は、3万円、5万円、8万円、10万円及び12万円から選択することができます。

4. 学 生 寮

学生寮に入寮を希望する人は、本人の申請に基づき、選考のうえ入寮を許可します。ただし、定員等の関係で入寮が許可されない場合があります。入寮を認められた場合、寮生活の全般にわたって本科生と同じ学寮日課、学寮規則を守らなければなりません。

学生寮の経費（平成30年3月現在）

（熊本キャンパス学生寮）

寄宿料 800円（月額）

食 費 957円（日額） 給食日数により精算します。

寮 費 3,000円（月額）

（八代キャンパス）

寄宿料 800円（月額）

食 費 1,000円（日額） 給食日数により精算します。

寮 費 5,400円（月額）

5. 電子情報システム工学専攻の概要

5. 1 修業年限及び修了要件

（1）修業年限 2年

（2）修了要件

※「電子・情報技術応用工学コース」と「電子情報技術専修コース」の各コースで定めた要件を満たす必要があります。詳しくは、専攻科案内「7. JABEE対応教育プログラム（電子・情報技術応用工学コース）及びJABEE非対応教育プログラム（電子情報技術専修コース）」を参照してください。

5. 2 カリキュラムの構成

本カリキュラムは、柔軟で創造工夫をもって未知なる複合領域の課題にも対応できる実践的・高度技術者の育成を目標として、電子、情報、通信、制御の4核からなる準学士課程のICT技術の基礎を融合した総合・専門基礎科目群を中心に、幅広い応用専門科目と問題解決型演習など、創造性・デザイン能力を育成する共同教育科目群からなる教育カリキュラムで構成されています。

別表第3

電子情報システム工学専攻

(平成26年度以降入学者用)

区分1	区分2	授業科目	種別	単位数	修得単位数	学年別配当			
						1年次		2年次	
						前期	後期	前期	後期
必修科目	総合基盤	起業化と社会	講義	2	2	2			
		創造性工学	講義	2	2	2			
		ヒューマンインターフェース技術	講義	2	2	2			
		感性情報工学	講義	2	2		2		
		技術社倫理	講義	2	2	2			
	コミュニケーション	コミュニケーション英語	講義	2	2		2		
		技術英語	演習	2	2			2	
		技術表現特論	演習	2	2			2	
	実験研究	創成技術デザイン実習	実習	2	2	2			
		システム工学特別研究Ⅰ	実験	2	2		2		
システム工学特別研究Ⅱ		実験	8	8			8		
小計				28	28	10	6	12	0
選択科目	専門基盤	デジタル信号処理工学	講義	2	14単位以上		2		
		物理数学	講義	2		2			
		数値計算論	講義	2				2	
		離散数学	講義	2			2		
		応用物理科学	講義	2			2		
		材料工学	講義	2		2			
		計測と制御	講義	2		2			
		マルチメディア工学	講義	2		2			
		デジタル電子回路学	講義	2			2		
		情報工学基礎論	講義	2			2		
	画像情報処理工学	講義	2	2					
	電子通信系	回路システム学	講義	2		2			
		応用電磁気学	講義	2		2			
		デジタル通信システム工学	講義	2				2	
		光情報処理工学	講義	2			2		
		通信符号理論	講義	2			2		
		電子物性論	講義	2		2			
		電子デバイス工学	講義	2				2	
		集積回路工学	講義	2	2				
		表面電子工学	講義	2			2		
		波形伝送工学	講義	2			2		
	電磁波計測工学	講義	2			2			
	ネットワーク工学特論	講義	2			2			
	情報制御系	情報処理回路	講義	2	20単位以上			2	
		シミュレーション工学	講義	2				2	
		システム制御理論	講義	2		2			
		ロボット工学特論	講義	2			2		
		知的制御システム論	講義	2					2
		数理・OR工学	講義	2			2		
		ファジィ工学特論	講義	2					2
アルゴリズム工学		講義	2				2		
画像工学総論		講義	2			2			
ソフトウェア設計工学		講義	2			2			
人間生体工学	講義	2	2						
音響システム工学	講義	2			2				
共同教育	インターンシップ実習1	実習	1		1		いずれか一科目を修得		
	インターンシップ実習2	実習	2		2				
	インターンシップ実習3	実習	3		3				
	インターンシップ実習4	実習	4		4				
	プロジェクト実習	実習	2		2				
	研究技術インターン	実習	1		1				
特別セミナー	特別実習セミナー	講義・演習	1~2		1~2				
開設単位小計				84~85		84~85			
開設単位合計				107		103~107			
修得単位合計					62単位以上				

専攻科案内

6. 生産システム工学専攻の概要

6. 1 修業年限及び修了要件

- (1) 修業年限 2年
- (2) 修了要件 学則に従い62単位以上を修得すること。

※「生産システム工学」教育プログラムの修了要件を満たすこと。詳しくは、8. JABEE 対応教育プログラム（生産システム工学専攻）を参照してください。

6. 2 カリキュラムの構成

本専攻では、機械知能システム、建築社会デザイン、生物化学システム系の各専門基礎技術を基盤にもものづくりをデザインし、これを展開して、国際的な視点に立ったイノベーション創成を担うことのできる実践的・高度技術者及び地域産業の発展に貢献できる人材の育成を目標とした教育カリキュラムを設定しています。具体的には、総合基盤、コミュニケーション、自然科学、基礎工学、実験研究を学ぶ共通の必修科目群に加え、それぞれの専門分野に属する応用科目を選択科目群として配置することにより、専門性の確立と複眼的視野の獲得を目指しています。

生産システム工学専攻						(平成30年度以降入学者用)			
区分1	区分2	授業科目	種別	単位数	修得単位数	学年別配当			
						1年次		2年次	
						前期	後期	前期	後期
必修科目	総合基盤	郷土の文学と人間	講義	2	2			2	
		技術倫理	講義	2	2		2		
		創成実践技術	講義	2	2	2			
		技術開発と知的財産権	講義	2	2			2	
	コミュニケーション	上級英語	講義	2	2	2			
		科学技術英語	講義	2	2		2		
		スピーチ・コミュニケーションⅠ	演習	1	1			1	
	自然科学	スピーチ・コミュニケーションⅡ	演習	1	1				1
		応用解析	講義	2	2	2			
		物理化学	講義	2	2	2			
		生命基礎科学	講義	2	2		2		
	基礎工学	地球環境科学	講義	2	2				2
		生産システム設計	講義	2	2				2
		生産デザイン論	講義	2	2			2	
		複合材料工学	講義	2	2				2
	実験研究	応用情報科学	講義	2	2	2			
		計算応用力学	講義	2	2	2			
		生産システム工学実験	実験	2	2		2		
		応用プロジェクト	実験	2	2				2
			特別研究Ⅰ	実験	4	4	4		
		特別研究Ⅱ	実験	6	6			6	
		開設単位小計		46	46	24		22	
選択科目	機械知能系	創造設計工学	講義	2		2			
		数値設計工学	講義	2				2	
		固体力学	講義	2			2		
		機能材料	講義	2				2	
		流動論	講義	2				2	
		熱移動論	講義	2				2	
		エネルギーシステム	講義	2					2
		高電圧工学	講義	2		2			
		デジタル制御	講義	2					2
		物性工学	講義	2		2			
	建築・土木系	センサ工学	講義	2				2	
		建設素材工学	講義	2		2			
		構造解析学	講義	2			2		
		振動解析学	講義	2				2	
		地盤保全工学	講義	2				2	
		水環境工学	講義	2					2
		地域計画論	講義	2				2	
		空間計画学	講義	2		2			
		住環境工学	講義	2					2
		景観設計演習	演習	2				2	
	生物・化学系	環境施設設計演習	演習	2		2			2
		建設情報処理	講義	2					2
		分子細胞生物学	講義	2		2			
		応用微生物学	講義	2		2			
		細胞工学概論	講義	2				2	
		生物化学	講義	2			2		
		応用生物化学	講義	2				2	
		無機化学	講義	2		2			
		有機反応化学	講義	2			2		
		環境分析化学	講義	2				2	
	各系共通	プロセス化学	講義	2					2
		データマイニング概論	講義	2					2
		自動制御技術	講義	2			2		
		地域経済論	講義	2		2			
		比較文化論	講義	2					2
		電磁気現象	講義	2			2		
		計算機プログラミング	講義	2				2	
		科学技術者と法	講義	2				2	
		電子計測技術	演習	1			1		
		情報通信技術	演習	1			1		
共同教育	創成実践セミナー	演習	1		1				
	エンジニア実践セミナー	講義	2			2			
	インターンシップⅠ	実習	1~4			1~4			
	インターンシップⅡ	実習	1~4					1~4	
学外	研究技術インターン	実習	1						
	特別実習セミナー	講義・演習	1又は2						
		開設単位小計		92		45~52		36~43	
		開設単位合計		138		69~76		58~64	
		修得単位合計			62単位以上				

専攻科案内

7. JABEE対応教育プログラム（電子・情報技術応用工学コース）及びJABEE非対応教育プログラム（電子情報技術専修コース）

今日の目覚ましい技術革新と技術の国際化にともなって、技術者の活躍の場も世界中に広がってきています。国際的に仕事をしていくためには、技術者としての実力を証明するために、国際的に通用する技術者資格が必要になってきています。そこで、技術者の教育プログラムの認定をすることで技術者教育を向上させるとともに、その教育プログラムが国際的に認められた水準に達している、つまり国際的に同等であることを示す必要がでてきました。

技術者教育の同等性を国際的に相互承認する制度として、ワシントン協定（Washington Accord）があります。これは、大学における技術者教育プログラムの実質的同等性を相互に承認するための協定です。ワシントン協定に加盟するために、平成11年11月に日本技術者教育認定機構（JABEE：Japan Accreditation Board for Engineering Education）が発足しました。そして、平成17年にワシントン協定への本加盟が認められ、JABEEの審査に合格した教育プログラムの修了者は、技術者としての教育を受けた人として国際的に認められることになりました。

JABEEが認定の対象とする技術者教育は、大学の学士レベルに相当する技術者育成のための基礎教育を対象としているため、高専では本科の4、5年と専攻科がこれに相当します。熊本高等専門学校熊本キャンパスには、JABEE対応教育プログラムとJABEE非対応教育プログラムがあります。JABEE対応教育プログラムは、平成17年にJABEEの認定を受けています。JABEEによって認定を受けた教育プログラムの修了生は技術士1次試験免除となり、修習技術者の国家資格が得られます。

表1 熊本キャンパスにおける教育プログラムの種類と名称

教育プログラムの種類	教育プログラムの名称
JABEE対応教育プログラム	電子・情報技術応用工学コース
JABEE非対応教育プログラム	電子情報技術専修コース

7. 1 JABEE対応教育プログラム「電子・情報技術応用工学コース」の概要

熊本高等専門学校熊本キャンパスのJABEE対応教育プログラムである「電子・情報技術応用工学コース」（以下、本コース）は、JABEEの「電子情報通信・コンピュータ及び関連の工学分野」基準に準拠したカリキュラムを設定しています。修了生は「電気電子部門」での修習技術者の資格を取得することができます。

(1) 学習・教育到達目標

本コースにおける学習・教育到達目標は、下記のとおりです。

(A) 日本語および英語のコミュニケーション能力

A-1 技術者として、分かりやすいきちんとした日本語での表現、技術報告書の作成、プレゼンテーションなどができる

A-2 英語による基本的な表現（英文読解、英作文、英会話）ができる

A-3 技術者としての英語のコミュニケーション能力を身に付ける

(B) コンピュータの基本的技術および工学への応用技術

B-1 コンピュータのハードウェアに関する基本的な働きを理解し、OSやプログラミング言語に関する基礎的な処理ができる

B-2 工学的な課題についてコンピュータを応用して解決することができる

(C) 電子・情報系技術の基礎知識・能力

- C-1 数学，物理などの基礎的な知識・能力を身に付け，それを工学の分野で利用できる
- C-2 電気磁気学や電子回路などの電子・情報系専門基礎科目の知識・能力を身に付ける
- C-3 基本的な測定機器の取り扱い，実験技術を身に付ける
- (D) 電子・情報系技術の一分野において専門技術に関する知識・能力
 - D-1 通信技術・電子技術・制御技術・情報技術などの中から一分野の専門応用技術を身に付ける
 - D-2 人の行動・感性を工学に生かす技術を身に付ける
 - D-3 与えられた課題について，問題解決の過程を通じてデザイン能力を身に付ける
- (E) 創造性，チャレンジ性を発揮できる素養
 - E-1 研究計画の立案，研究の進め方，結果の整理・考察など一連の技術開発手順を学習し，創造性を身に付ける
 - E-2 実験や研究途上で生じた新たな問題点を複眼的視点から解決し，技術者として自主的に取り組むチャレンジ性を身に付ける
 - E-3 知的探究心を持ち継続的に学習する習慣を身に付ける
 - E-4 企業実習，校内での実習を通じ，与えられた課題に対する実践的な能力を身に付ける
- (F) 人類への貢献意識を持ち，広い視野と倫理観を持った技術姿勢
 - F-1 諸外国の言語を学び各国の文化，価値観などに触れるとともに，社会の成立に不可欠な諸条件の基礎的知識を習得することにより，多面的に物事を考え価値観の異なる他者との共存ができる素養を身に付ける
 - F-2 スポーツやグループワークを通して協力・連携の意識を育み，社会性・協調性・チームワーク力を身に付ける
 - F-3 技術が人類社会に及ぼす影響，技術開発が人類社会に与える倫理的な問題について理解する

(2) 履修対象者及び履修者

(履修対象者)

本専攻は、熊本高等専門学校熊本キャンパス本科4年次から専攻科2年次までの4年間の課程を対象としています。本科の4・5年生のうち、専攻科に進学を希望する学生が履修対象者となるのは当然ですが、本科を卒業後に就職を希望する学生でも、何年か後に専攻科や大学へ入学または編入学してJABEE対応教育プログラムの履修者となる可能性があります。また、本科卒業後に大学へ編入学する学生は、編入先の大学でJABEE対応教育プログラムの履修者となることが考えられます。これらのことから、本科4・5年次の学生は全員がJABEE対応教育プログラムの履修対象者であり、それに対応した教育を受けることになります。

(履修者)

本専攻の履修者は以下のいずれかに該当する人としします。また、本コースの履修を希望する人は、専攻科入学直後に履修登録届を提出する必要があります。

- ① 熊本高等専門学校熊本キャンパス本科を表4の条件を満たして卒業し、専攻科において本コースを履修する人
- ② 専攻科入学前に熊本高等専門学校熊本キャンパスの本科相当とみなせる他の教育機関で履修し、専攻科において本コースを履修する人。ただし、表3に定める単位を修得していることが必要である。専攻科入学前に修得した科目については別途定める規則により本コース修了に必要な科目としての認定を行う。こ

専攻科案内

の認定によっても、なお表3に定める条件を満たさない場合、専攻部会が次の指導を行う。

- (a) 専攻科の科目を修得することにより、本コースの修了要件を満たす場合は、該当科目を選択させる。
- (b) 専攻科の科目だけでは修了要件を満たさない場合、本科の科目履修または他大学(放送大学を除く。)の単位修得により本コースの修了に必要な科目を修得させる。

表3 本コース履修登録以前に修得しておくべき学習要件

分類	本コース履修登録以前に修得しておくべき授業科目と単位数	
	科目	単位数
人文・社会科学・ 語学学習	国語	1単位以上
	英語	4単位以上
	その他	4単位以上
保健体育	保健体育・スポーツ系	2単位以上
数学・自然科学・ 情報技術	数学・物理・自然科学系	6単位以上
	情報技術系	4単位以上
専門科目	専門基礎科目	6単位以上
	専門応用科目	8単位以上
	実験系科目	6単位以上
総合した要件		62単位以上

(3) 修了要件

本コースを修了するためには、次の全てを満足する必要があります。

- (1) 専攻科修了に必要な単位を修得すること
 - (2) 124単位以上を修得すること
 - (3) 表4で指定する科目を全て修得し、学習・教育到達目標を達成していること
 - (4) コミュニケーション英語の評価が80点以上であること、またはTOEICスコア400点相当以上(※)の英語力を有すること
- (※) 「TOEICスコア400点相当」とは、次のいずれかに該当すること
- (i) TOEICテスト(公開テスト、IPテスト、模擬試験のいずれか)において400点以上の得点を得ること
 - (ii) 実用英語検定試験準2級に合格すること
 - (iii) 実用英語検定試験2級一次試験において50%以上の正答率を得ること。(なお、一次・二次試験に合格するかどうかは問わない。)
 - (iv) 工業英語検定試験3級以上に合格すること
- (5) 大学改革支援・学位授与機構より学位(学士)を取得すること

(注意)

- 本コースの履修生が専攻科を修了するためには、上記3.(1)～(4)を満たす必要があります。

本 科 (2009年度以前の入学者)					
選択科目	4年	法学、経済学、哲学、社会学からいずれか1科目修得			
	5年	独語Ⅱ、中国語、国語Ⅱ、英語Ⅱからいずれか1科目修得			
指定選択科目		情報通信工学科	電子工学科	電子制御工学科	情報工学科
		応用プログラムⅠ または通信プロト コル工学のいずれ か1科目修得	指定なし	指定なし	指定なし
本 科 (2010年度以後の入学者)					
選択科目	4年	法学、経済学、哲学、社会学からいずれか1科目修得			
指定選択科目		情報通信エレクトロニクス 工学科	制御情報システム工学科	人間情報システム工学科	
		指定なし	指定なし	指定なし	
専攻科					
自然科学系	物理数学、離散数学、応用物理学から2単位以上修得				
情報技術系	情報工学基礎論及び数値計算論から 2単位以上修得		画像情報処理工学、数理・OR工学、 アルゴリズム工学から2単位以上修得		
専門科目	専門基盤から6単位以上、電子通信系、情報制御系選択科目から 12単位以上修得				
プロジェクト実習	インターンシップ実習1、2、3、4、プロジェクト実習から いずれか1科目修得				

「電子・情報技術応用工学コース」履修登録希望者の、他の高等教育機関等で修得した科目及び単位の認定に関する取り扱い規則

1. 科目及び単位の取り扱い

「電子・情報技術応用工学コース」（以下、本コース）履修登録希望者が他の高等教育機関等で修得した科目及び単位については、本規則の定めるところにより、本コースの修得科目及び修得単位とみなすことができる。

2. 取り扱いの手順

科目及び単位の修得の認定に関わる審議は専攻部会で行い、科目及び単位の修得の認定は学校長が行う。

3. 認定に必要な書類

科目及び単位の修得認定を受けるためには、次の書類を提出すること。

- (1) 単位認定願
- (2) 当該科目のシラバス（使用教科書名を含むこと。ただし、教科書を使用しない科目にあつては教科書名不要）及び成績証明書
- (3) 当該科目の授業時数（実時間）を証明する書類

専攻科案内

4. 個別の認定条件

(1) 本コース登録以前に、本キャンパス以外の高等教育機関において修得した科目および単位、並びに本キャンパスの本科を本年3月に卒業した学生以外の方が修得した科目および単位、本コースの本科4・5年で修得しておかなければならない科目に対して、本科4年相当以上の学年において修得した科目であって、その科目が本コースの学習・教育到達目標に対応していれば置き換えることができる。上記3. の書類を提出し、その成績評価が60点以上であれば、その科目および単位を専攻部会で審議し本コース修了に必要な単位として認定する。成績評価が60点未満の場合、筆記試験を100点満点で実施し、60点以上であれば認定する。

なお、ここで認定した科目および単位は専攻科の修了要件には含めない。

(2) 放送大学の科目および単位

放送大学で修得した科目および単位は、本コースの修了に必要な科目として認定しない。

(3) 工業高校等において修得した科目および単位

工業高校等から本科4年次に編入学した場合、編入学前に修得した科目および単位は本コースの科目および単位として認定しない。

7. 2 JABEE非対応教育プログラム「電子情報技術専修コース」の概要

JABEE対応教育プログラムとは別に、専攻科の各専攻において、電子情報技術・制御情報技術などの専攻する専門技術分野をより深く修め、本キャンパスの教育理念および次に示す専修コースの教育目標を達成し、専攻科の修了要件を満たして修了するJABEE非対応教育プログラムがあり、これを「電子情報技術専修コース」（以下、「専修コース」）と呼びます。

(1) 専修コースの教育目標

(1) 高度開発型技術者（実践的技術に加えて柔軟な発想能力のある開発技術者）の育成

1-1 電子情報・制御情報に関する一分野の専門応用技術を身に付ける

1-2 研究計画の立案、研究の進め方、結果の整理・考察など一連の技術開発手段を学習し、創造性を身に付ける

(2) 高度総合システム技術者（電子・情報技術を工学的産業技術に活用し、人間に快適なシステム化ができる技術者）の育成

2-1 人の行動・感性を工学に生かす技術を身に付ける

2-2 知的探究心を持って研究・実習活動に取り組み、電子・情報技術を工学的産業技術に活用する能力を身に付ける

(3) 知的情報処理技術者（コンピュータ技術を知的情報処理技術に高めることができる創造性のある技術者）の育成

3 コンピュータ技術を知的情報処理技術に高め専門分野の課題について応用し解決することができる

(4) 日本語の表現力を磨くとともに、英語によるコミュニケーション力を身に付け国際的にも活躍できる人材の育成

4-1 英語による基本的な表現（英文読解、英作文、英会話）ができる

4-2 技術者としての英語のコミュニケーション能力を身に付ける

4-3 技術者としての基本的な日本語の表現能力（報告書作成、プレゼンテーション）を身に付ける

(5) 知的柔軟性（工学的見地に偏ることのない人間性・知見）の育成

5-1 自然科学・社会科学の基礎的な知識・能力を身に付け、工学の分野で利用できる

5-2 豊かな人間性を持ち、社会性・協調性・チームワーク力を身に付ける

(6) 人類への貢献意識を持ったチャレンジ精神豊かな技術者の育成

6-1 技術者として必要な起業力、技術の動向、倫理的問題などについて基礎知識を習得する

6-2 実験や研究途上で生じた新たな問題点を複眼的視点から解決し、技術者として自主的に取り組む
チャレンジ性を身に付ける

(2) 専修コース入学対象者

専修コースでは、専攻する専門技術分野をより深く修め、専修コースの教育目標を達成して修了するものを対象としており、具体的には次のような人が該当する、なお、本コースの履修を希望する人は、専攻科進学後に履修登録届を提出する必要があります。

- ① 広く教育環境を提供するために、本キャンパスの専攻科進学以前に本キャンパスJABEE対応コースで設定された学習・教育到達目標にしたがって教育を受けていなかったため、あるいは身体等の障害により、JABEE対応コースで設定する条件（単位数、授業時間、インターンシップ等）を達成することが困難な人で、本キャンパス専攻科での学習意欲のある人
- ② JABEE対応コース修了要件にとらわれず、スペシャリストとしての学習を希望する人

(3) 専修コース修了要件

専修コースでは、将来、研究者・高度コンピュータ技師として活躍できる、一分野でレベルの高い技術者を養成することを目標とする。したがって、専修コースの修了要件としては、専攻科修了に必要な単位を修得し、かつ以下のいずれか1項目以上の条件を満たさなければならない。

- ① 特別研究の評価が80点以上でかつ、外部研究発表2件相当以上であること。
- ② コミュニケーション英語の評価が80点以上でかつ、TOEICスコア500点（または、実用英検2級あるいは工業英検2級）以上であること。
- ③ 第1級陸上無線技術士等、本キャンパスで定める難易度DまたはEレベルの資格のうち、一つ以上の資格を取得すること。
- ④ 専門基盤の選択科目（デジタル信号処理、材料工学、計測と制御、情報工学基礎論、画像情報処理工学）のうち、2科目以上の評価が80点以上でかつ、電子通信系、情報制御系の専門科目の選択科目のうち2科目以上の評価が80点以上であること。

専攻科案内

8. JABEE対応教育プログラム（生産システム工学専攻）

8. 1 JABEE対応教育プログラム「生産システム工学専攻」の概要

（1）教育プログラムの目的

生産システム工学専攻では、「変化する社会に柔軟に対応することのできる自立した実践的技術者の育成及び科学技術による地域社会への貢献を使命とする」という理念のもとに、「産業構造の複雑化・多様化に対応し、モノづくりの現場で“大局着眼、小局着手”を実行できる自立した実践的技術者を育成することを目標とする」という教育目標を掲げています。

この理念と教育目標に従い、「狭い専門分野に留まらず工学の基礎となる幅広い知識と技術を確実に身に付け、工学の諸分野に発生する諸問題を発見して解決できる能力を備えた技術者、豊かな人間性と規律を持つ技術者、そして柔軟さと好奇心をもって問題解決に積極的に向き合う技術者」を育成することを目的として、本科4年から専攻科2年までの4年間を対象とした“熊本高専「生産システム工学」教育プログラム”（以下、教育プログラム）を設定しています。

この教育プログラムは、日本技術者教育認定機構（JABEE：Japan Accreditation Board for Engineering Education）の「工学（融合複合・新領域）分野」基準に準拠したカリキュラムを設定しています。本校は平成17年度にJABEEの認定を受けました。JABEEによって認定を受けた教育プログラムの修了生は技術士1次試験免除となり、修習技術者の国家資格が得られます。八代キャンパスの教育プログラムの修了生は「応用理学」分野での修習技術者の資格を取得することができます。

（2）教育プログラムの構成

教育プログラムは、八代キャンパスを構成する3学科（機械知能システム工学科、建築社会デザイン工学科及び生物化学システム工学科）及び1専攻（機械知能、建築・土木、生物・化学の3系）の、本科4年次から専攻科2年次までの4年間から構成されています。

（3）教育プログラムの学習・教育到達目標

教育プログラムは、次の2つを教育の柱としています。

- （ア）さまざまな複合的技術要素を必要とするモノづくりの現場で、一人一人の最も得意とする専門工学分野の基本的素養を具体的なデザインや生産手法に活かすことのできるエンジニア教育
- （イ）地域の社会や文化への理解と参加意欲をもち、地球的視点で物事を捉えられるエンジニア教育

このため、1－6の6項目からなる熊本高専の学習・教育目標—本校が育成する人材像—に対応した「生産システム工学」教育プログラムの学習・教育到達目標を設定しています。

1. 日本語および英語のコミュニケーション能力を有する技術者

- 1－1. 日本語による適切な文章表現及び口頭の意味伝達ができる
- 1－2. 英語で書かれた技術文書の概要・要旨がつかめる
- 1－3. 研究の英文概要を書くことができ、発表資料などに英語を用いることができる

2. ICTに関する基本的技術および工学への応用技術を身に付けた技術者

- 2－1. ICT技術を活用した計測技術を使い実験データを収集することができる
- 2－2. 収集したデータや情報を数理的処理を用いて分析し専門工学での問題解決に繋げることができる

3. 多分野における技術の基礎となる知識と技能，及びその分野の専門技術に関する知識と能力を持ち，複眼的な視点から問題を解決する能力を持った技術者
 - 3-1. 数学・自然科学の基礎知識を，専門分野の課題で活用することができる
 - 3-2. 多様な専門分野の関連性を理解し，多面的に捉えることができる
 - 3-3. 基礎知識を活用して工学的問題を理解し，説明できる
 - 3-4. 基礎的な実験技術を用いて，実験を企画・実行して結果の分析・評価ができる
4. 知徳体の調和した人間性および社会性・協調性を身に付けた技術者
 - 4-1. 幅広い知識を身につけ，地球的視点から問題を捉えることができる
 - 4-2. 異文化を理解し，価値観の多様性を認識することができる
 - 4-3. 社会参加への意欲と関心をもつことができる
 - 4-4. グループでの活動に参加し，他のメンバーと協調して課題に取り組むことができる
5. 広い視野と技術のあり方に対する倫理観を身に付けた技術者
 - 5-1. 科学技術に関する倫理的問題について理解し，指摘することができる
 - 5-2. 実務上の問題を理解し，技術的・倫理的知識を適用することができる
6. 知的探求心を持ち，主体的，創造的に問題に取り組むことができる技術者
 - 6-1. 知的好奇心と探求心を持って，幅広い分野の課題に取り組むことができる
 - 6-2. 得意とする専門分野の知識，技術と情報を駆使して，社会の要求に応じた問題解決の方法を企画，デザインすることができる
 - 6-3. 研究や学習状況を把握・記録して自主的・継続的に学習できる

(4) 教育プログラムの履修対象者

教育プログラムの履修対象期間は、本科第4学年から専攻科第2学年までの4年間とし、履修対象者は当該期間の在籍学生です。従って、本科4年と5年の2年間は本教育プログラムの前半課程、専攻科の2年間は後半課程となります。また、本科4年への進級または編入学は教育プログラムへの入学となります。

本科から専攻科へ進学するためには専攻科入学試験を受験しなければなりません。また、本科5年を卒業後そのまま専攻科に進学する場合や、本科を卒業して一旦企業などに就職し、その後社会人選抜で専攻科に入学する場合など学生の進路は多様です。そこで教育プログラムでは、本校専攻科入学試験に合格し、生産システム工学専攻に入学した人を教育プログラムの「履修生」として最終登録します。履修生は、専攻科修了までに教育プログラムの修了要件を全て満たさなければなりません。

(5) 教育プログラムの修了要件

教育プログラムの修了要件は、「熊本高等専門学校「生産システム工学」教育プログラム履修規定」により、次のように定められています。

- (ア) 学士の学位を取得すること
- (イ) 教育プログラムの単位を124単位以上修得すること
- (ウ) 口頭で自分の研究内容を発表できること、学外での発表を目指すこと
- (エ) インターンシップを経験し、実践的な課題解決のための基礎力を身につけること
- (オ) 数学・自然科学・情報技術科目群のうち、「応用物理」、「応用数学」、「物理化学」、「応用解析」を含む7科目以上を修得していること

専攻科案内

- (カ) 基礎工学の次の5科目群について各科目群から少なくとも1科目を含む7科目以上修得していること
 - a) 設計システム系科目群、b) 情報・論理系科目群、c) 材料・バイオ系科目群、d) 力学系科目群、e) 社会技術系科目群
- (キ) 専門工学の次の4科目群のうち、達成度評価基準を満たして科目を修得していること
 - a) 専門工学の知識と能力科目群
 - b) いくつかの工学の基礎的な知識・技術を駆使して実験を計画・遂行し、データを正確に解析し、工学的に考察し、かつ説明・説得する能力科目群
 - c) 工学の基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を探究し、組み立て、解決する能力科目群
 - d) 技術者が経験する実務上の問題点と課題を理解し、適切に対応する基礎的な能力科目群

上記の修了要件のうち、要件(エ)のインターンシップは、履修対象期間内に移動日や休日を除いて延べ14日以上経験することが必要です。

要件(カ)と(キ)の科目群の詳細については、関連資料の“「生産システム工学」教育プログラム履修の手引き”または専攻科学生便覧を参照して下さい。なお、これらの科目群の各科目の合格基準は60点です。

(6) 専攻科修了要件と教育プログラム修了要件

専攻科の修了には、教育プログラムの修了要件のうち、「1. 学士の学位の取得」を除く全ての要件を満たすことが必要です。

(7) 他の高等教育機関で修得した単位及び編入学生が編入前に修得した単位の認定

本校教育プログラムでは、次のような基準で他の教育機関で修得した単位を認定しています。なお、何れの場合でも、成績証明書やシラバス等により履修科目の内容を個別に審査します。

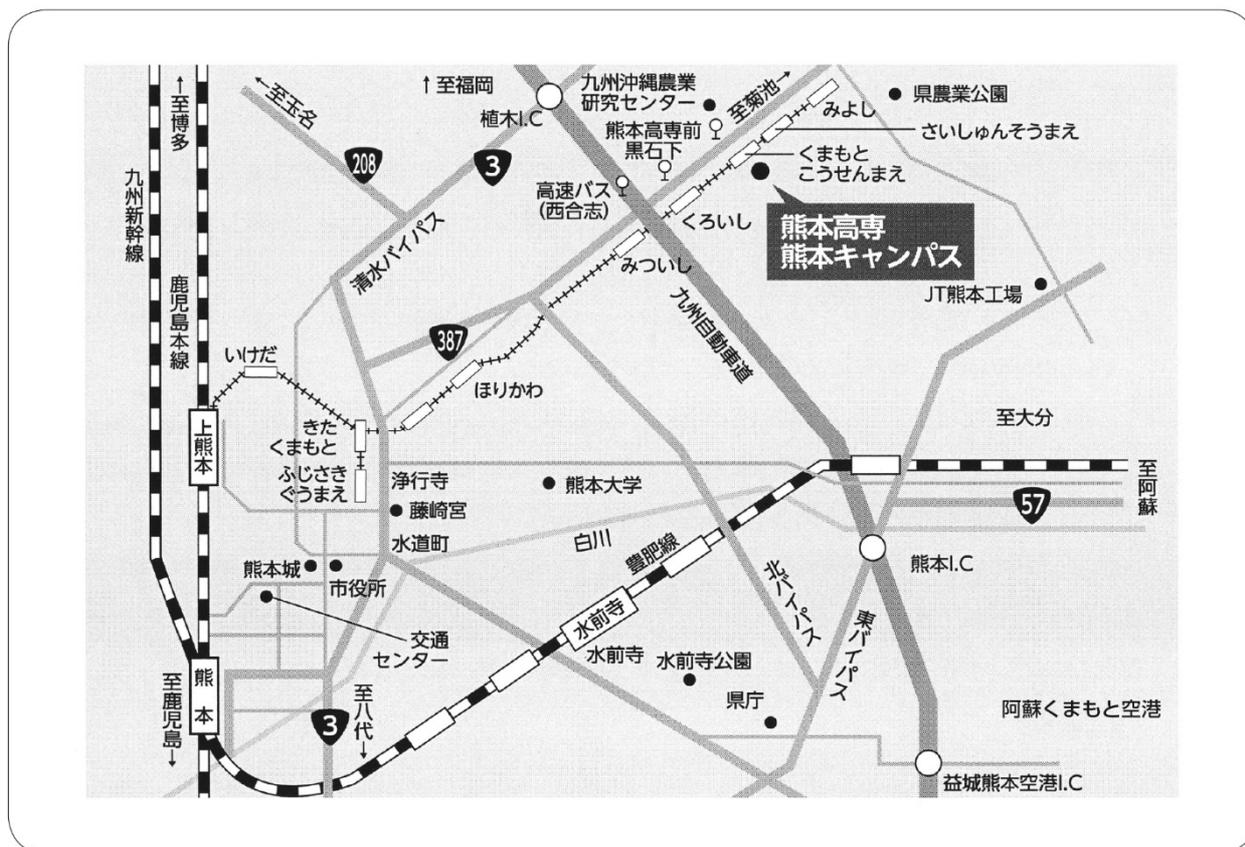
- (ア) 教育プログラム履修対象期間(本科4、5年及び専攻科1、2年)に相当する期間中に他大学などで修得した単位については、原則として、本校のプログラム単位としては認めていません。しかし、実施時数の証明や評価基準が公開されているなどの状況を考慮して、個々のケースを審議して教育プログラムの単位として認める場合もあります。
- (イ) 工業高校等(農業高校を含む)及び普通高校から本科4年次に編入学した場合、編入学前に修得した単位は本校の教育プログラムの単位としては認めていません。
- (ウ) 専攻科入学資格を満たした本校以外の出身者で本校専攻科に入学した(教育プログラムに途中編入してきた)場合、本校専攻科入学前(教育プログラム編入学前)の出身校で修得した単位については、学習保証時間の証明やシラバスによる評価基準を基に審議して判定します。

(8) 関連資料

教育プログラム等の詳細については、本専攻のホームページを参照してください。

<http://y-page.y.kumamoto-nct.ac.jp/disclosure/jabee.html>

熊本高専 熊本キャンパス案内図



■ 交通案内

① 熊本電鉄（バス）

- ア. 「熊本駅前」から北1・北3系統の菊池温泉行又は菊池プラザ行（田島経由を除く。）に乗車（約50分）。「熊本高専前」下車、徒歩2分
- イ. 熊本市内の交通センターから北1・北3系統の菊池温泉行又は菊池プラザ行（田島経由を除く。）に乗車（約40分）。「熊本高専前」下車、徒歩2分

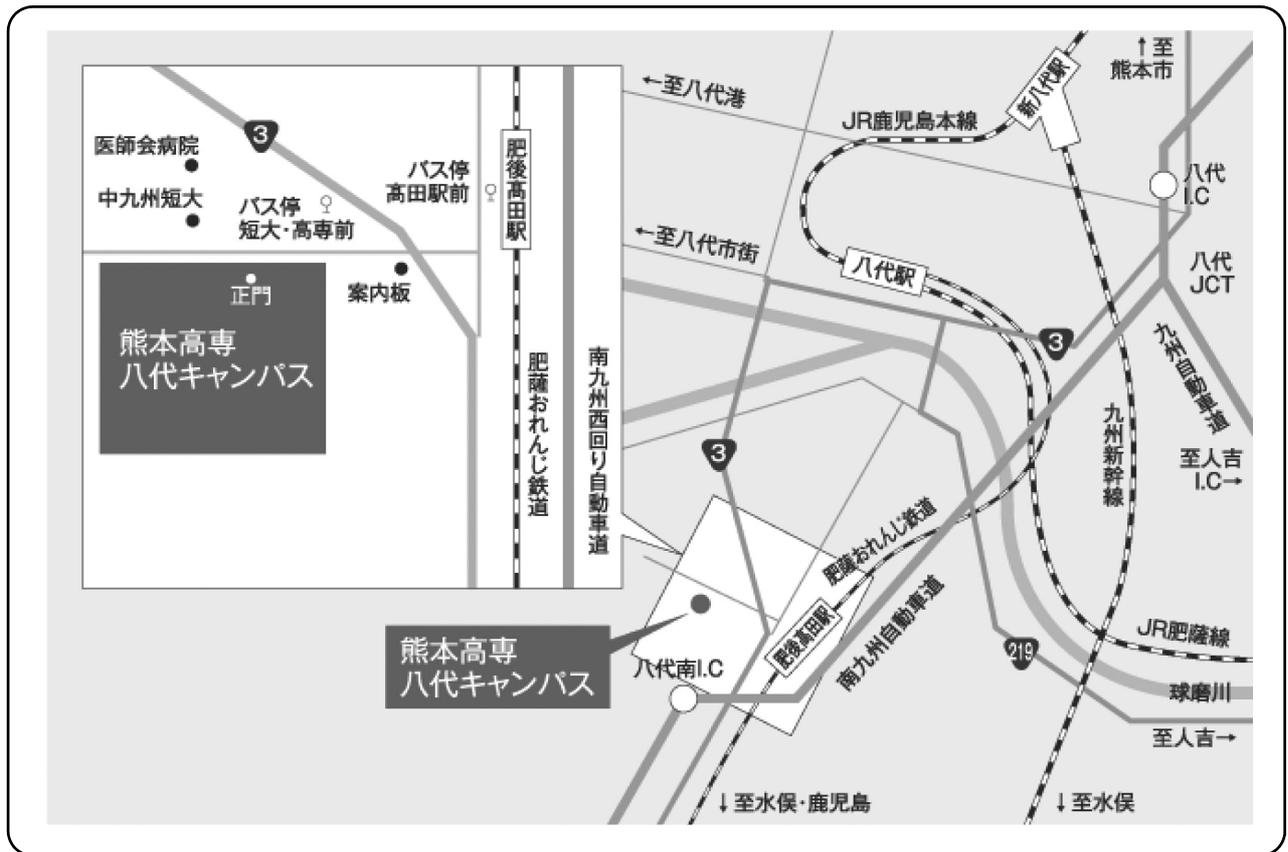
② 熊本電鉄（電車）

- ア. 「藤崎宮前」から御代志行に乘車（約25分）。「熊本高専前」下車、徒歩2分
- イ. 「上熊本」から北熊本行に乘車（約10分）。「北熊本」で御代志行に乗り換え（約20分）、「熊本高専前」下車、徒歩2分

③ 九州自動車道（高速バス）

- ア. 「西合志」下車、徒歩約25分
- イ. 「西合志」下車、菊池温泉行又は菊池プラザ行の熊本電鉄（バス）「黒石下」で乗車（約3分）。「熊本高専前」下車、徒歩2分
- ウ. 「西合志」下車、御代志行の熊本電鉄（電車）「三ツ石」で乗車（約3分）。「熊本高専前」下車、徒歩2分

熊本高専 八代キャンパス案内図



■ 交通案内

① JR

ア. JR「新八代駅」から八代キャンパスまで約6.8km

イ. JR「八代駅」から八代キャンパスまで約4.5km

② 肥薩おれんじ鉄道

肥薩おれんじ鉄道「肥後高田駅」から八代キャンパスまで徒歩10分

③ 産交バス

産交バス「八代駅前」乗車

ア. 「下西町」行き、「高田駅前」下車、徒歩10分

イ. 「道の駅たのうら」行き、「短大高専前」下車、徒歩10分